

## 国立公園の魅力あるストーリー作りに関する意見交換会（霧島地域）

日時：令和4年11月12日（土）15:30-17:00

場所：霧島国際音楽ホール（みやまコンセール）小ホール

### 議事次第

#### 1. 開会

#### 2. 議事

- (1) 国内の観光動向及び国立公園のブランディングについて
- (2) 霧島錦江湾国立公園（霧島地域）の魅力あるストーリー作りについて

#### 3. 閉会

---

#### 配布資料

資料1 議事次第・出席者一覧

資料2 物語（ストーリー）から始まる国立公園のブランディング

資料3 霧島錦江湾国立公園 自然と人々の物語（ストーリー）検討状況

参考資料1 霧島錦江湾国立公園満喫プロジェクト  
ステップアッププログラム2025 概要

参考資料2 令和5年度予算概算要求資料（満喫プロジェクト関係）

国立公園の魅力あるストーリー作りに関する意見交換会（霧島地域）  
出席者一覧

区分	団体・所属	役職	出席者
地方公共 団体	鹿児島県 自然保護課	課長	中山 直樹
	鹿児島県 PR 観光課	課長	廻 秀仁
	宮崎県 自然環境課	課長補佐	浜上 利次
	宮崎県 観光推進課	課長補佐	米良 充宏
	霧島市	市長	中重 真一
	えびの市	副市長	杉元 真一
事業者等	(一社) 霧島コネクト	代表理事	笠島 一郎
	霧島ジオガイドネットワーク	代表	坂元 幸一
	霧島ガストロノミー推進協議会	副会長	徳重 克彦
	霧島神宮	禰宜	赤崎 大和
	(公社) 鹿児島県観光連盟	専務理事	倉野 満
	(公財) 宮崎県観光協会	観光推進局長	熱田 聡
環境省	国立公園課国立公園利用推進室	室長	岡野 隆宏
	国立公園課	課長補佐	山崎 麻里
	霧島錦江湾国立公園管理事務所	所長	松尾 浩司
有識者	国立公園満喫プロジェクト 有識者会議	委員	星野 佳路



National  
Parks  
of Japan



国立公園の魅力あるストーリー作りに関する意見交換会（霧島地域）

資料 2

# 物語（ストーリー）から始まる 国立公園のブランディング

環境省自然環境局国立公園課国立公園利用推進室

岡野 隆宏





# 観光立国推進閣僚会議 西村大臣御発言要旨

(令和4年10月11日(火) 17:40~18:00)

- 我が国の傑出した自然景観を有する国立公園において、**美しい自然の中での感動体験**を柱とした滞在型・高付加価値観光や、サステナブルツーリズム、アドベンチャーツーリズムの推進を図ります。
- 具体的には、自然体験アクティビティの開発、廃屋撤去などの景観改善、官民連携による利用拠点の魅力向上などに取り組み、国内外からの誘客拡大に貢献していきます。





# 日本の国立公園

～流氷からサンゴ礁まで様々な  
風景が広がる日本の国立公園～





# 日本の国立公園(全国で34)



- 1 利尻礼文サロベツ
- 2 知床
- 3 阿寒摩周
- 4 釧路湿原
- 5 大雪山
- 6 支笏洞爺
- 7 十和田八幡平
- 8 三陸復興
- 9 磐梯朝日
- 10 日光
- 11 尾瀬
- 12 上信越高原
- 13 妙高戸隠連山
- 14 秩父多摩甲斐
- 15 小笠原
- 16 富士箱根伊豆
- 17 中部山岳
- 18 白山
- 19 南アルプス
- 20 伊勢志摩
- 21 吉野熊野
- 22 山陰海岸
- 23 瀬戸内海
- 24 大山隠岐
- 25 足摺宇和海
- 26 西海
- 27 雲仙天草
- 28 阿蘇くじゅう
- 29 霧島錦江湾
- 30 屋久島
- 31 奄美群島
- 32 やんばる
- 33 慶良間諸島
- 34 西表石垣



# 自然公園法の目的

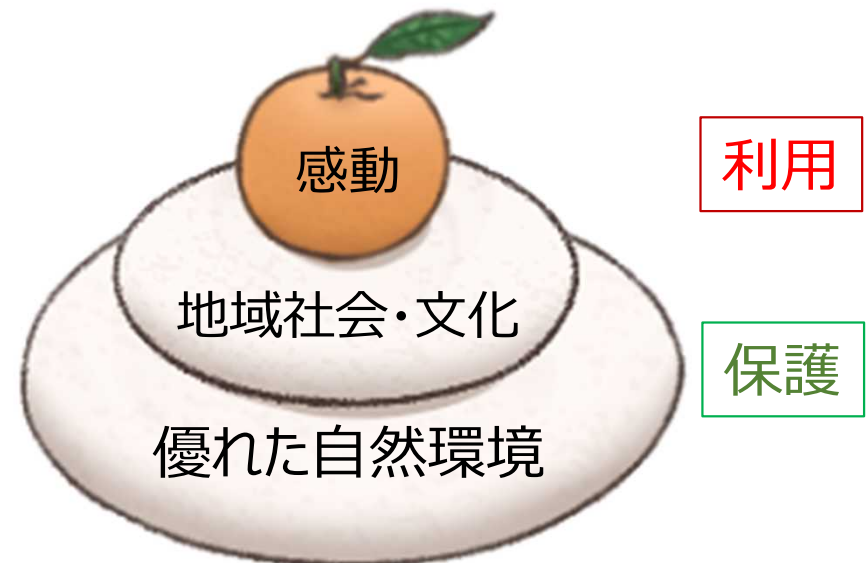
- 優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図り、もって国民の保健、休養及び教化に資するとともに、生物の多様性の確保に寄与する。

## 自然の風景地

優れた自然の風景地  
(多様な生態系を包含)

優れた自然  
(生態系、希少種・・・)

## 保護と利用

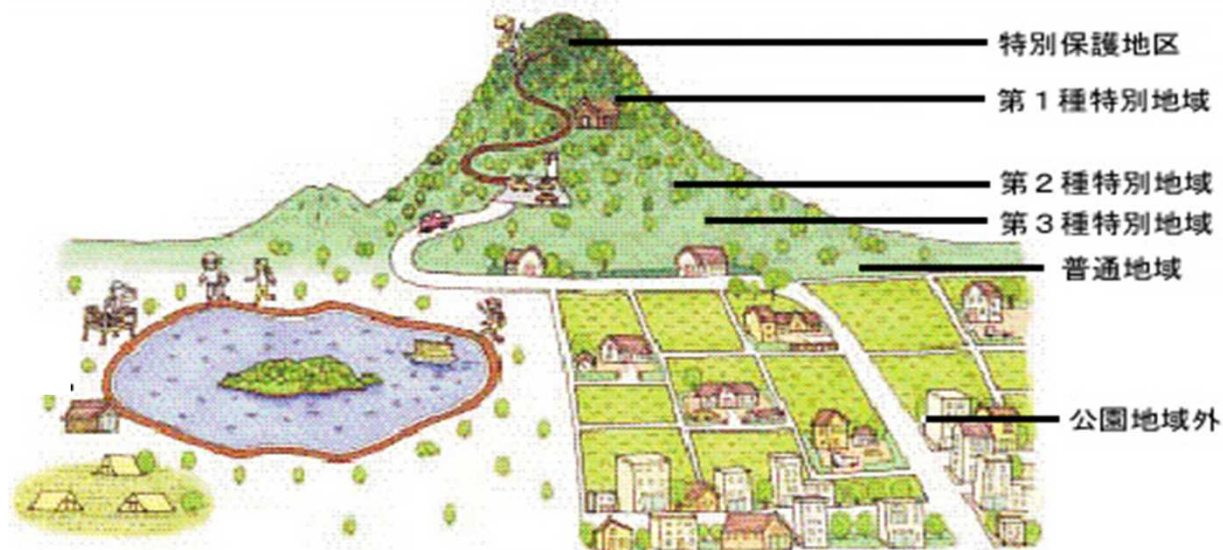






# 国立公園の指定と公園計画

- 土地所有の有無に関わらず区域を定めて指定
- 保護規制のためのゾーニング  
(自然の状況に応じて規制の強弱)
- 利用のための施設配置

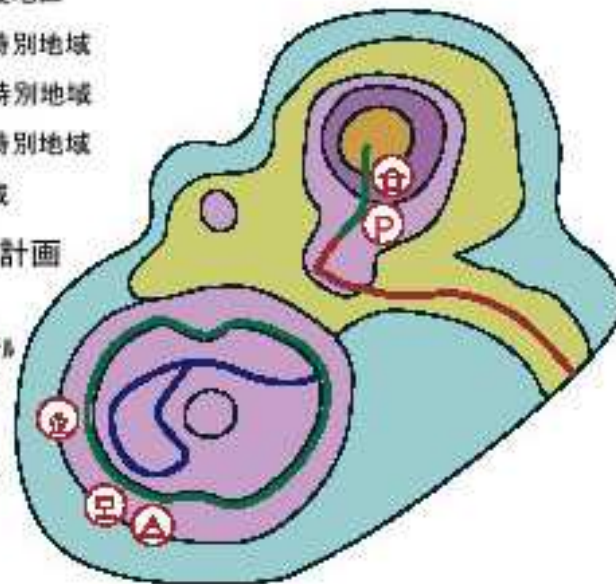


## 保護のための計画

- 特別保護地区
- 第1種特別地域
- 第2種特別地域
- 第3種特別地域
- 普通地域

## 利用のための計画

- 園地
- 山小屋・行所
- キャンプ場
- 駐車場
- ビジターセンター
- 車道
- 歩道
- 遊覧船







# 暮らしや文化とともにある国立公園

- 日本の国立公園は観光地としての価値だけでなく、**人の暮らしが息づく場としての価値**がある
- 多様な自然を背景として長い間積み上げられてきた**地域独自の文化や歴史が魅力**
- **自治体・民間事業者は公園づくりのパートナー**



公園内の居住人口が非常に多い伊勢志摩国立公園、里山・里海として人々の生活と共に自然がある

- **自然を活用した持続可能な地域づくりのモデルを作り上げる**

- 交通機関、ホテルなどの宿舎、お土産店などは民間企業が経営
- 登山道などの公共施設の整備、維持管理や美化清掃などは自治体と連携



草原は地域の農的営みで形成・維持されてきた。



社寺仏閣も多く存在。

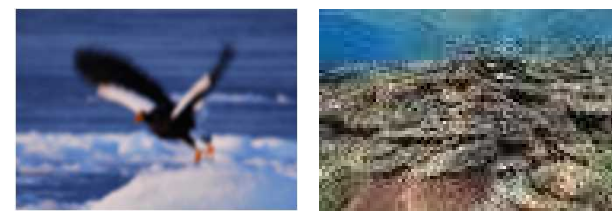


# 国立公園満喫プロジェクト

「明日の日本を支える観光ビジョン（2016年3月）」の柱の一つに国立公園が位置づけられる  
2016年～ 国立公園満喫プロジェクト開始  
【訪日外国人の国立公園利用者数】 490万人（2015年） → 667万人（2019年）

## 国立公園の保護と利用の好循環により、 優れた自然を守り地域活性化を図る

- ◆ 日本の国立公園のブランド力を高め、国内外の誘客を促進。利用者数だけでなく、滞在時間を延ばし、**自然を満喫できる上質なツーリズム**を実現。
- ◆ 地域の様々な主体が協働し、地域の経済社会を活性化させ、自然環境の保全へ再投資される好循環を生み出す。



国立公園の優れた  
自然環境

最大の魅力は  
自然そのもの

保護

利用

地域資源として  
自然の価値向上

地域の産業の活性化  
地域の持続的な発展

# 日本の国立公園のブランドコンセプト

ブランドメッセージ

その自然には、物語がある。

提供価値

多様な自然風景と、生活・文化・歴史が凝縮された物語を知ること、忘れられない唯一無二の感動や体験ができる。

情緒価値

自然風景・自然体験・文化体験の多様性に感心する

自然と人の共生で生まれた歴史や物語が心に響く

機能価値

一期一会の自然風景の多様性を感じることができる

自然と人々の共生による生活・文化を体験できる

地域の人々やレンジャーたちが対話し守ってきた歴史を学ぶことができる

事実・ファクト

同じ公園・同じ場所でも時によって違う景色を見せる

多様性に富む34の公園（動植物、景観）がある

人が手を入れ共生してきた自然がある

地域性である

地域の資産である

保護し、また利用に係る整備をしてきた

【気候】 四季がある

【地形】 南北に長く、標高差があり、地形も複雑で狭い国土

【制度】 日本を代表する「傑出した自然の風景地」として国が指定

日本の特徴



# 物語 = 風景の成り立ちと価値の言語化

## 顕著な普遍的価値

何を大切にし、来訪者に何を伝えるのか

ix)生態系：海氷の影響を受けた海と陸の生態系の豊かなつながり

x)生物多様性：動植物ともに北方系と南方系の種が混在することによって、多くの希少種や固有種を含む幅広い生物種が生息・生育するなど、生物の多様性を維持するために重要な地域



知床連峰



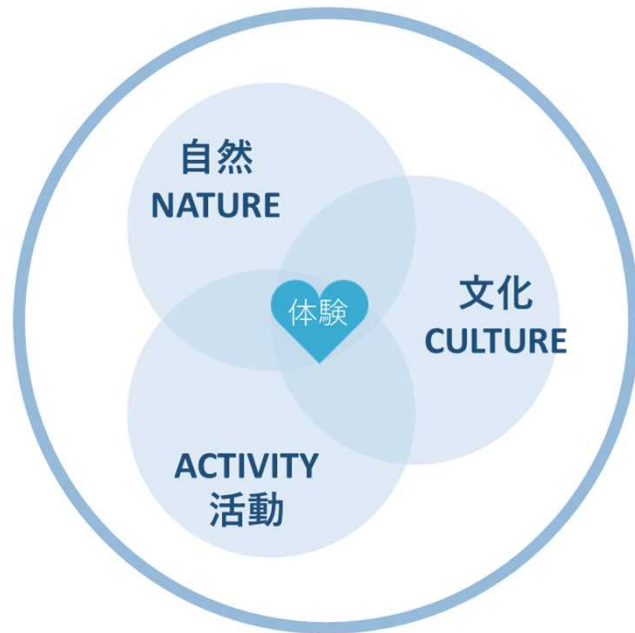
熊越の滝



# アドベンチャー・ツーリズム※

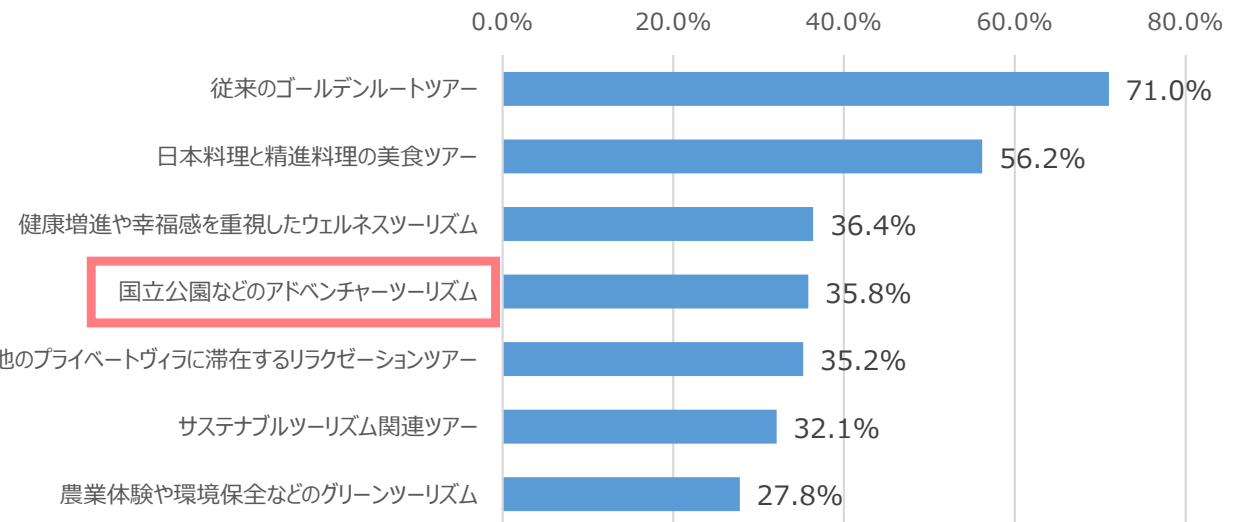
※「アドベンチャー・ツーリズム」とは、アクティビティ、自然、文化体験の3要素のうち、2つ以上で構成される旅行

- 海外（特に米国）では、アドベンチャー・ツーリズムの人気の高まっており、海外エージェントが日本に求めるツアーでもアドベンチャー・ツーリズムを挙げる声が多い。
- ATTAによる試算では、世界全体の旅行市場の中で、アドベンチャー・ツーリズム市場が30%を占めている。特に米国における市場規模の割合が大きい。マストゥーリズムでは消費額のうち地域に残るのは14%に留まるのに対し、アドベンチャー・ツーリズムの場合は65%が地域に残るとされている。



マス・ツーリズム	アドベンチャー・ツーリズム
<b>14</b>	<b>65</b>
国内に留まる収益 (%)	
<b>1.5</b>	<b>2.6</b>
地元における雇用効果 (人/10万USD)	

## 今後、日本に力を入れてプロモーションしてほしいツアー



◆「自然」、「アクティビティ」、「文化体験」の3要素のうち2つ以上で構成される旅行。

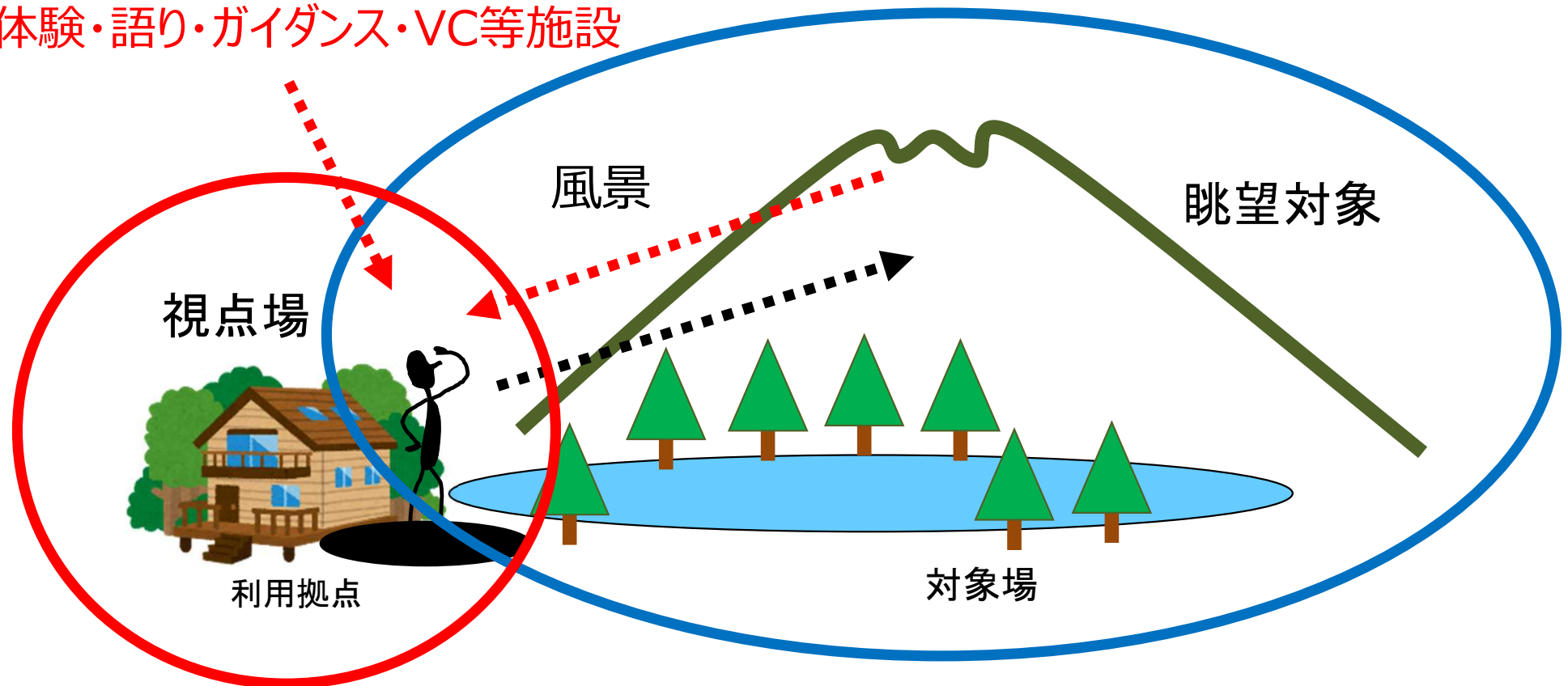
◆AT旅行者は、旅行を通じて自分自身の変化や視野の拡大、学び等を得ることを目的としており、個々のコンテンツの質の高さは当然として、旅行者それぞれの興味・関心に応じたテーマ・ストーリー性のある滞在プランなど、その地域ならではの体験を求めていることが特徴



# 風景地の捉え方

情報（ストーリー・保全の仕組み）  
体験・語り・ガイドンス・VC等施設

風景の捉え方（概念）



「風景の**利用**」と「風景の**保護**」

「**情報**」の付加による「**感動**」と「**学び**」（教化）

→Transformation（意識変容、行動変容）



# 上質なツーリズムの5つの要素

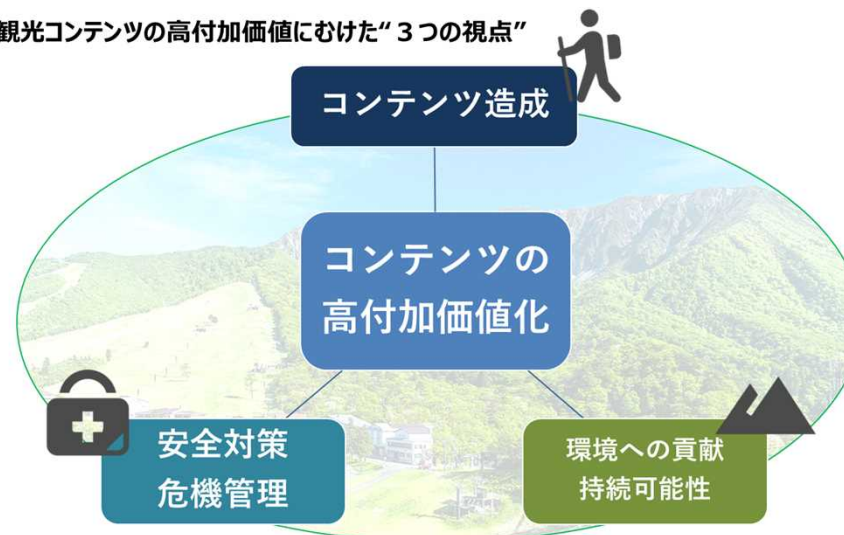
- ◆ **物語（ストーリー）**：自然の成り立ちと人の営みを伝える
  - 公園ごとのストーリーを明確に、他の公園との違いも明らかに
  - 食や工芸、祭祀などとのつながりを位置付け、魅力の向上、地産地消などによる地域経済に貢献
- ◆ **インタープリテーション**：感動と学びをサポートする
  - 来訪者にもたらしたい体験を明確に
  - 体験コンテンツ及びツアーの造成、ビジターセンターや標識等の施設整備などの方針
  - 参加者の個性や経験に関連付けて、新しい世界を開いて見せる  
インタープリターの人材育成が重要
- ◆ **ルール**：保護と利用の好循環を生む
  - 規制や制限は唯一無二の感動と体験を提供する仕組み  
(感動を与える自然の保護、人数制限による限定体験・圧倒的感動)
  - 協力金等により、自然環境の保全や野生生物の保護に貢献



# 上質なツーリズムの5つの要素

- ◆ **体験コンテンツ**：自然や文化を五感で体験
  - 『国立公園における自然体験コンテンツガイドライン』策定
  - コンテンツ造成、安全対策・危機管理、環境への貢献・持続可能性の三つの観点から、高付加価値化の手助け
- ◆ **ツアー化**：商品化
  - 物語に沿って、複数のコンテンツ、宿泊、移動を組み合わせ
  - 上質な宿泊施設や食、限定体験などと組み合わせ高付加価値化
  - 旅行者のニーズを理解して、その旅行者のためだけのストーリーを立て、行程を組み立てられるコーディネーターの育成が課題

■観光コンテンツの高付加価値にむけた“3つの視点”





# ブランドプロミスとブランディング活動（未定稿）

ブランドメッセージ

その自然には、物語がある。

提供価値

多様な自然風景と、生活・文化・歴史が凝縮された  
物語を知ること、忘れられない唯一無二の感動や体験ができる。

ブランドプロミス（国立公園が来訪者・地域に約束すること）

1. 感動的な  
自然風景

2. サステナビリ  
ティの体感・共感

3. 自然と人々の  
物語を知る  
アクティビティ

4. 魅力的な  
施設とサービス

ブランディング活動

（ブランドプロミスを実現し続けるため、各国立公園で地域・関係者と一緒に取り組むこと）

【共通事項】

- ①自然・生活・文化・歴史を把握し、物語（ストーリー）を明らかにし、保護と利用の方針を定めます。
- ②地域の多様な主体と一体となって公園管理や魅力の発信に取り組めます。

③多様な自然の風景  
や野生生物を保護・  
再生します。

④保護と利用の好循環  
を生む仕組みをつくり  
ます。（利用者負担・  
限定体験など）  
⑤地域の持続可能な発  
展に貢献します。（脱  
炭素・脱プラ・地産地  
消など）

⑥物語(ストーリー)  
に沿った魅力的な自  
然体験コンテンツと  
体験コースをつくり  
ます。

⑦集団施設地区・温泉街  
等の利用拠点の魅力向上  
を図ります。  
⑧魅力的な利用施設の整  
備・管理を進めます。  
⑨統一したメッセージ、  
デザインを活用し、国立  
公園に関する情報を広く  
発信し、認知拡大に努め  
ます



# 実現の鍵はパートナーシップ

- ☆ 環境省だけでは実現は不可能
- ☆ 国立公園づくりのパートナーである自治体・地域内外の民間事業者との連携「**パートナーシップ**」がカギ
- ☆ 皆さんと公園ごとの**物語（ストーリー）**を議論し、**保護と利用の方針**を立てて、共有することが重要
- ☆ 上質な利用のために
  - **インタープリテーション計画**の策定、**人材育成**
  - 限定体験・ガイド同伴などによる**高付加価値化**
  - 親和性の高い市場への**適正な価格**でのアプローチ
  - **2泊3日**を基本としたツアーづくり
  - 来訪者の**2割**を目的来訪者にしたい

### 抽出

- 霧島地域の観光に関する資源を抽出
- 「自然」「文化」「歴史」「食」「アクティビティ」など

### 分析

- 「ならでは」の魅力：競争優位性、独自性、差別化
- 顧客ニーズ：ターゲット層、国内外からの来訪目的

### 検討①

- 地域関係者による議論（ワークショップ等）
- 自然への思い・エピソード等を収集「（仮）霧島百景」

### 検討②

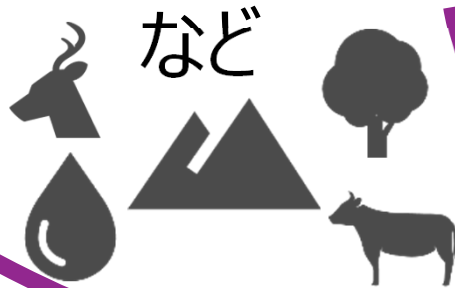
- 魅力的な「自然と人々の物語（ストーリー）」として明確化

# 地域関係者とのワークショップ

## 国立公園の魅力・資源

<ストーリーの要素>

「自然×食」  
「自然×歴史」  
「自然×文化」  
「自然×神話」



## 地域の「想い」

<ストーリーの核>

- ・大切にしている事
  - ・具体的エピソード
  - ・すばらしいと思うもの
  - ・来訪者に伝えたいこと
- など



**霧島錦江湾国立公園 自然と人の物語**

「ストーリーづくり」を通して、地域の魅力を整理・再発見し、つなげていく



# 物語（ストーリー）⇒具体的アクションへ

<b>国立公園ブランディング活動</b> (ブランドプロミスを実現し続けるため、環境省が地域・関係者と一緒に取り組むこと)	<b>霧島錦江湾国立公園におけるアクション</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 多様な自然の風景や野生生物の保護・再生</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 誰が、どこで、何をやるべきなのか？</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 保護と利用の好循環を生む仕組みづくり</li><li>・ 地域の持続可能な発展に貢献</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 既存施策では不足なのか？</li><li>・ 何をどうすれば「魅力的」なのか？</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 物語(ストーリー)に沿った魅力的な自然体験コンテンツと体験コース</li></ul>	などなど
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 集団施設地区・温泉街等の利用拠点の魅力向上</li><li>・ 魅力的な利用施設の整備・管理</li><li>・ 統一したメッセージ、デザインを活用し、国立公園に関する情報を広く発信</li></ul>	<p>「ストーリーを伝えるため」という視点での再整理・重点化</p>

< 例えば >



霧島「ならでは」の火山植生



霧島「ならでは」の歴史

**国立公園ブランディング活動**

「ストーリー」を伝えるための、

- ・ 森林、植生保全
- ・ 利用ルール、利用者負担
- ・ ガイド同伴での限定体験
- ・ 歩道ルートや解説設備
- ・ 人材育成 など

### 【R4年度】

- ・ 満喫プロジェクト地域部会

（霧島地域、桜島・錦江湾奥地域、指宿・佐多地域それぞれで開催）

- ・ 満喫プロジェクト霧島錦江湾地域協議会

⇒ 物語（ストーリー）の精査＋行動計画の見直し

⇒ R5 環境省事業への反映

### 【R5年度～】

- ・ 重点事項への集中的取組

- ・ 国立公園の管理運営計画等への反映を検討

# 霧島錦江湾国立公園満喫プロジェクト ステップアッププログラム2025 概要

## コンセプト

多様な火山とその恵み、壮大な歴史と神話に彩られた霧島・錦江湾  
～まるごと楽しむ南九州の自然・文化・食～



## 目標（～2025年）

- ① **コロナ収束前**  
コロナ影響前の国内利用者数の復活
- ② **コロナ収束後、地域の実情を踏まえ**  
まずは新型コロナウイルスの影響前の訪日外国人利用者数の復活

## ターゲット

- ① 国内さらにはエリアを絞り九州内、隣県、県内。特に消費が多い利用者
- ② アジア地域が中心  
客単価の高い欧米豪の個人旅行客も

## 重点施策・集中的な取組

- ・消費額増加・満足度向上
- ・夜間・早朝の体験プログラムの開発・充実やロングトレイルの設定等
- ・プロモーションや交通手段の充実等。
- ・サステナビリティ
- ・保護と利用の好循環。
- ・民間事業者、銀行と連携

## 地域別の取組方針等

### 全体

- ・脱炭素に向けた取組を検討

## 霧島地域 多様な火山地形と火山の恵み

- ・廃屋撤去等、一体的な景観改善
- ・e-bikeの導入等、二次交通の改善
- ・ロングトレイルにより滞在長期化
- ・民間事業者や銀行と連携し、周遊性を高めるアクティビティの導入



## 桜島・錦江湾奥地域 陸から海から活火山桜島を間近に体験

- ・民間事業者と連携し、
- 1) アクセスを改善
- 2) 新たな環境保全型の自然体験型ツーリズム実施



## 指宿・佐多地域 多様な温泉と開聞岳の眺め

- ・駐車場等で利用者負担による滞在環境の上質化を検討
- ・フェリーに接続する二次交通の維持に向けて検討
- ・新たな夜間利用として佐多岬での星空観察会等を実施。



# ステップアッププログラム2025 行動計画（霧島市、えびの市関連を抜粋）

エリア	実施する事項	検討主体/実施主体	エリア	実施する事項	検討主体/実施主体
霧島地域 えびの高原・白鳥温泉	(上質な宿泊施設の誘致)		高千穂河原エリア	(ツアープログラム開発とガイド育成)	
	▪上質な宿泊施設(グランピング等)の誘致	環境省・宮崎県・えびの市		▪高千穂河原ビジターセンターにおけるツアーデスクの設置、登山用品等の物販、研修室等の整備を検討	鹿児島県・霧島市
	(ツアープログラム開発とガイド育成)			▪トレッキングコースとともに、ウォーキングコースである森林セラピーロードやオルレコースなど、多様なプログラムを併用し、温泉とマッチングさせた健康的プログラムの開発とプロモーションを実施	霧島市
	▪ワーケーションと気軽に登れるトレッキングルートや自転車コース、四季折々の火口湖景観、貴重な野生動植物、温泉地獄や天然のサウナ、食、神話などの文化等を結び付け、滞在時間を延ばすためのツアープログラムを継続的に開発・実施	環境省・宮崎県・えびの市		▪霧島市観光案内所を拠点としてe-bikeを活用するアクティビティを導入	民間事業者
	▪白紫池利用ルールの検討結果を踏まえ、火口湖での水上アクティビティの導入に向けて検討(スタンドアップパドルボード等)	環境省・宮崎県・えびの市		▪丸尾・霧島温泉郷や霧島神宮前において、周辺利用のコンシェルジュ機能の設置について検討	霧島市・民間事業者
	▪霧島・えびの高原ロングトレイルの運用開始に向けた推進体制及びコースの確立	鹿児島県観光連盟		(利用環境の整備)	
	▪足湯の駅えびの高原やアウトドアステーションえびのでのレンタサイクル事業の拡充を図るとともに、公園外でのアウトドアアクティビティとの連携を強化	えびの市		▪防災や火山博物館機能を備えたビジターセンターの整備・改修	鹿児島県
	(まちなみ景観の整備)			▪噴火に伴う立入規制範囲を避けて登山できるルートの整備を検討	環境省・霧島部会構成員
	▪展望確保やノカイドウ保全のための抜き伐りの実施	環境省		▪各登山道における利用環境の向上(携帯トイレに関する普及啓発や荒廃箇所等の整備、登山口の駐車場整備等)を検討	霧島部会構成員
	(利用環境の整備)			▪霧島山や桜島等が眺望できる展望所の設置を検討	霧島部会構成員
	▪硫黄山等の火山活動状況を踏まえ、池めぐり周回コースや登山道の整備を検討	宮崎県		▪上質な宿泊施設と連携した地区の面的な上質化や体験プログラムの造成等について検討(新規)	霧島市・民間事業者
	▪白鳥温泉の立地に応じた来訪者の多様なニーズに合った宿泊形態の確保を図るため、魅力的な施設となるよう改修するとともに、えびの産の食材や、自転車などのスポーツと温泉を組み合わせた湯治スポーツツーリズムを促進	えびの市		▪年間約750万人が訪れる霧島神宮周辺の開発により、滞在型観光と周辺への波及効果を高める取組の検討	霧島部会構成員
	▪キャンプ場の施設を外国人観光客、高齢者や車いす利用者にとっても利用しやすいようにユニバーサルデザインの観点等から改修するとともに、廃屋化した施設の撤去や撤去跡地の活用等について検討	環境省・えびの市		▪霧島温泉街等において光ファイバによる超高速ブロードバンドを整備	霧島市
	▪県道えびの高原小田線の末永地区において大型車の離合困難箇所を段階的に整備	宮崎県		▪霧島温泉街や丸尾の滝周辺を散策できる遊歩道や照明等の整備を実施	鹿児島県
	▪火山ガスの立入り禁止柵など安全施設の適切な管理や、多言語による迅速な火山活動状況の情報提供	環境省・宮崎県・えびの市			
	▪えびの高原において、韓国岳やつつじヶ丘の視軸を意識した象徴的な空間づくりを目指し、施設の改修、わかりやすい標識の整備、園路のユニバーサル対応等を実施するとともに、硫黄山噴火を自然の営みとして捉え、環境学習資源として活用するための整備を検討	環境省・宮崎県・えびの市			
	▪県道1号線の再開に合わせて、宮崎側からの二次アクセスの充実(路線バスや定期観光バスの誘致等)を検討	環境省・宮崎県・えびの市 小林市・民間事業者			
	▪道の駅えびのに併設するアウトドアステーションえびのを野外活動拠点、周辺市町との広域連携拠点として魅力を向上させ、公園外でのアウトドアアクティビティとの連携事業を強化	えびの市			
▪2020年10月現在、通行止めとなっている県道小林えびの高原牧園線の硫黄山周辺について、硫黄山の火山活動を注視しながら、交通開放に向けて検討	宮崎県				
▪えびの高原全体の水の安定供給に向けた給水施設の整備	宮崎県・えびの市				





【令和5年度要求額 12,839百万円 + 事項要求 (10,821百万円)】 環境省

世界水準の「ナショナルパーク」を実現し、国立公園の保護と利用の好循環により、地域活性化を図ります。

## 1. 事業目的

- 日本の国立公園のブランド力を高め、国内外の誘客を促進。利用者数だけでなく、滞在時間を延ばし、自然を満喫できる上質なツーリズムを実現。
- 地域の様々な主体が協働し、地域の経済社会を活性化させ、自然環境の保全へ再投資される好循環を生み出す。

## 2. 事業内容

国立公園訪日外国人利用者数は2019年に約667万人まで増加。しかし、**新型コロナウイルス感染症の影響により国内外の観光客が大幅に減少**し、国立公園の観光地では大きな打撃が生じた。これを踏まえ、改正自然公園法を活用しつつ自治体・民間団体等との連携を促進し、**国内利用客の早期回復、ゼロカーボンパーク推進を含む持続可能な観光地の形成、インバウンドの受入環境向上と段階的回復**に向けた取組を図る。

- ・ **基盤的な利用施設の整備**：登山道の再整備、ビジターセンターの充実、キャンプ場リニューアル等
- ・ **公園施設の長寿命化対策**：木道やトイレの改修等による長寿命化
- ・ **脱炭素型の公園づくりの推進**：計画等の検討、サステナブルツーリズム推進
- ・ **国内外からの誘客の強化**：各公園のストーリーに基づくコンテンツの充実と戦略的情報発信
- ・ **受入環境・体制の充実**：広域周遊、自治体・民間団体等との連携促進、人材育成、利用者負担の仕組みづくり等
- ・ **山小屋の施設改修支援**：環境配慮型トイレ導入
- ・ **利用拠点等の再生促進**：廃屋撤去、施設の外観修景などの景観改善

## 3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業／交付金／補助金
- 請負先・交付対象 民間事業者・団体／都道府県・市町村
- 実施期間 平成28年度～

## 4. 事業イメージ



- ・ ビジターセンターや展望台、歩道等の利用施設を整備・リニューアルし、美しい景観や自然を満喫できる基盤を充実



- ・ 国内外からの誘客の強化、各公園のストーリーに基づくコンテンツの充実と戦略的情報発信、自治体・民間企業等との連携促進等を通じ、国立公園の国内外の利用者を復活



- ・ サステナブルツーリズム推進のための取組計画検討、複数公園や周辺観光地含む広域周遊促進、公共施設の官民連携推進、利用者負担の仕組みづくりを進める